

村上 明美（大学院研究科兼務）

1 著書

- 1) 村上明美（2018）. 事例から学ぶ 産科医療補償制度と助産リスクマネジメント. 東京：医歯薬出版株式会社.
- 2) 村上明美（2017）. 第 18 章 産科医療補償制度 助産師関連団体の取り組み. 吉村泰典・小西郁生・編主幹, 先端医療シリーズ 48 臨床医のための最新産科婦人科 (pp.307-310). 東京：先端医療研究所.

2 学術論文

- 1) 村上明美（2018）. 医療安全を推進する適切な診療録 産科医療補償制度から学ぶ. 神奈川母性衛生学会誌, 21(1), 1-3.

3 その他の著作

- 1) 村上明美（2017）. 脳性麻痺をいかに予防するか？ 助産師からみた再発防止. 周産期医学, 48(3), 291-294.
- 2) 公益財団法人日本医療機能評価機構 第 8 回産科医療補償制度再発防止に関する報告書～産科医療の質の向上に向けて～. 産科医療補償制度再発防止委員会.
- 3) 村上明美（2018）. 産科医療補償制度と助産師 再発防止に向けた提言と助産師から見た意義. 助産雑誌, 72(3), 175-181.
- 4) 村上明美（2018）. 産科医療補償制度に学ぶ 助産師のための妊娠・分娩マネジメント講座（第 5 回）常位胎盤早期剥離の保健指導. ペリネイタルケア, 36(6), 600-604.
- 5) 村上明美（2018）. 助産師のきく～聞く・聴く・訊く・効く～力 「聞く・聴く・訊く」を「効く」につなげる. 助産師, 72(1), 12-15.

4 学会等での活動

- 1) 村上明美（2018）. 産科医療補償制度 産科医療の質向上を目指して 医療事故再発防止に向けた助産師の取り組み シンポジスト. 第 32 回日本助産学会学術集会. 横浜市.
- 2) 村上明美（2018）. 母子と女性を守る助産の知と技、そして連携 学術集会会長講演. 第 32 回日本助産学会学術集会. 横浜市.
- 3) 藤平真理子, 村上明美, 谷口千絵（2018）. 助産師国家資格を有する看護師の助産師職へのこだわり. 第 32 回日本助産学会学術集会, 日本助産師学会誌, 31(3), 303. 横浜市.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 公益社団法人神奈川県助産師会会長, 2016.4.～
- 2) 一般社団法人日本母性衛生学会幹事, 2004.4.～
- 3) 神奈川県母性衛生学会理事, 2009.4.～

- 4) 産科医療補償制度再発防止委員・分析部会委員, 2009.4.～
- 5) 日本助産学会誌査読委員, 2008.4.～
- 6) 日本母性衛生査読委員, 2007.4.～
- 7) 一般社団法人日本助産学会代議員, 2015.4.～
- 8) 全国助産師教育協議会助産師教育研修研究センター運営委員, 2015.4.～
- 9) 第32回日本助産学会学術集会会長, 2017.3.～2018.3

6 学内教育活動

1) 学部

リプロダクティブ・ヘルスケアⅠ, リプロダクティブ・ヘルスケアⅡ, リプロダクティブ・ヘルスケア実習, 助産学概論, 助産診断・技術学Ⅰ, 助産診断・技術学Ⅱ, 助産管理論, 助産学実習, 卒業研究, 統合実習, ヒューマンサービス論Ⅰ, ヒューマンサービス論Ⅱ.

2) 大学院

研究法Ⅱ, ウィメンズヘルスケア特論, ウィメンズヘルスケア演習, 看護学特別研究.

7 学内各種委員会活動

- 1) 総務企画委員, 2013.4.～
- 2) COI (利益相反) 委員, 2013.4.～
- 3) 地域貢献研究センター運営委員, 2017.4～2018.3

8 社会貢献

- 1) オーストラリア・ニューカッスル大学連携交流, 2018.2 調印.
- 2) 関東労災病院にて臨床指導者研修講師, 2013～
- 3) 研修会開催「看護職・福祉職・教職を目指す学生を対象とした性暴力被害者支援に向けた研修会～性暴力対応における倫理と役割を学ぶ～」. 2015～2017.

9 講演, 放送

- 1) 全国助産師教育協議会特定分野(助産)における保健師助産師看護師実習指導者講習会講演「助産学教育課程」. 2017.7.
- 2) 全国助産師教育協議会ファーストステージ研修「教育課程方法論」. 2017.10.
- 3) 宮城県看護協会産科管理者研修「産科医療保障制度の事例から助産業務ガイドラインを読み解く」. 2017.9.
- 4) 平成29年度(公社)日本助産師会 北海道東北地区研修会 助産師のきく～聞く・聴く・訊く・効く～力. 2017.9.
- 5) 武蔵野市寄付講座 妊娠・出産・子育ての今. 2017.12.

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 村上明美研究代表. 産後/中高年女性の腹圧性尿失禁の予防・改善のための骨盤底筋強化セルフケアの効果. 科研費(挑戦的萌芽研究), 3770千円, 2015.4.1～2018.3.31.

12 受賞

- 1) 公益社団法人日本助産師会会長表彰. 2017.6.

北岡 英子（大学院研究科兼務）

4 学会等での活動

- 1) 彦根倫子，広永愛，吉橋ひと美，古塩節子，田中智子，岩本雅子，山本恵子，小野聡枝，宮崎晃子，北岡英子（2017）．神奈川県保健師人材育成に関する自主活動の成果．第39回神奈川県地域保健師研究発表会．
- 2) 田中智子，岩本雅子，山本恵子，彦根倫子，広永愛，吉橋ひと美，古塩節子，小野聡枝，宮崎晃子，北岡英子（2017）．神奈川県保健師人材育成に関する自主活動の歩み．第39回神奈川県地域保健師研究発表会．
- 3) 古塩節子，田中智子，彦根倫子，小野聡枝，北岡英子（2017）．事例検討会への参加による保健師の意識と行動の変化．第6回日本公衆衛生看護学会学術集会講演集，189．
- 4) 平野美千代，岡本玲子，和泉比佐子，安斎由貴子，和泉京子，伊藤美樹子，内山有子，蔭山正子，北岡英子，斉藤恵美子，巽あさみ（2017）．日本公衆衛生看護学会編集委員会企画 学会誌投稿推進セミナー入門編：原稿の書き方を伝授します！ 第6回日本公衆衛生看護学会学術集会講演集 88．ワークショップ 2-5．
- 5) 分科会 5 保健師分科会 座長．第39回日本アルコール関連問題学会．

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本公衆衛生雑誌編集委員，2014.4.～2018.3.
- 2) 日本公衆衛生看護学会誌編集委員，2015.4.～2018.3.
- 3) 日本アルコール関連問題学会評議員 学会誌編集委員，2010.4.～2018.3.
- 4) 神奈川県茅ヶ崎市健康増進計画推進委員会委員長，2012.4.～2018.3.
- 5) 神奈川県大磯町健康増進計画推進委員会委員，2012.4.～2018.3.
- 6) 横須賀市国民健康保険運営協議会委員，2013.4.～2018.3.
- 7) 横須賀市開発審査会委員，2013.4.～2018.3.
- 8) 横須賀市医師会倫理審査委員会委員，2017.8.～2018.7.
- 9) 全国保健師教育機関協議会 研修委員会 研修体制構築班メンバー，2016.6.～2018.6.
- 10) 全国保健師長会調査委研究委員会委員，2017.4.～2018.3.
- 11) 日本看護協会 健康寿命の延伸等に資する保健活動検討委員会委員，2017.4.～2018.3.

6 学内教育活動

1) 学部

地域看護学Ⅰ・Ⅱ，地域看護学実習，公衆衛生看護活動論，公衆衛生看護活動演習Ⅰ・Ⅱ，公衆衛生看護管理論Ⅰ・Ⅱ，公衆衛生看護学実習，在宅看護学実習，災害看護論，看護関係法規，地域母子保健，ヒューマンサービス論Ⅰ，保健医療福祉論Ⅰ．

2) 大学院

地域ケア特論，地域・精神看護学特論，地域・精神看護学演習，包括支援看護特論，包括支援看護演習。

7 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科長，2017.4.～2018.3.
- 2) 総務・企画委員会，2017.4.～2018.3.
- 3) カリキュラム委員会，2017.4.～2018.3.

8 社会貢献

- 1) 平成 29 年度神奈川県平塚保健福祉事務所秦野センター 母子保健委員会 第 1 回周産期検討部会 助言者，2017.5.26.
- 2) 平成 29 年度 横浜市栄区 こんにちは赤ちゃん訪問員研修講師，2017.6.15.
- 3) 平成 29 年度川崎市新任保健師研修講師 「保健師の個別支援に必要な基本的役割」. 2017.6.29.
- 4) 平成 29 年度 神奈川県新任保健師指導者研修「新任期保健師を育てるためのポイント～ティーチングとコーチング～」. 2017.7.14.
- 5) 平成 29 年度鎌倉保健福祉事務所 地域保健師業務連絡会議 合同研究会（三浦半島・湘南地域ブロック）助言者，2017.7.20.
- 6) 高大連携プログラム 県立二俣川看護福祉高等学校 「子育てにやさしい地域づくりー少子化社会での子育てを応援するー」. 2017.9.27.
- 7) 平成 29～30 年度 第 1 回全国保健師教育機関協議会 公衆衛生看護学を教授する教員<レベル I >研修「教育学総論」「教育評価」座長，「実習指導計画立案」演習 講師，2017.8.20～21.
- 8) 平成 29 年度川崎市新任保健師研修 事例検討講師，2017.10.31.
- 9) 横須賀市保健師人材育成ガイドライン検討会 助言者，2018.11.7.
- 10) 平成 29 年度 神奈川県平塚保健福祉事務所秦野センター 母子保健委員会 第 2 回周産期検討部会 助言者，2018.2.15.
- 11) 平成 29 年度神奈川県保健師研修（基礎コース・後期）講師「事例検討から支援の方向性を考える」. 2018.2.23.
- 12) 平成 29 年度 神奈川県保健福祉事務所保健師研修「保健師活動の質を高めるためには」. 2018.3.16.
- 13) 平成 29～30 年度 第 1 回全国保健師教育機関協議会 公衆衛生看護学を教授する教員<レベル I >研修 課題発表と討議 講師，2018.3.24.

白水 真理子 (大学院研究科兼務)

2 学術論文

- 1) 林美佐, 白水真理子, 宮芝智子 (2017). 看護教員のレジリエンスの実態と関連因子—自己教育力と職場内のソーシャルサポートに焦点を当てて—. 日本看護学教育学会誌, 26(3), 1-12.

3 その他の著作

- 1) 白水真理子, 高谷真由美, 稲垣美紀, 宮脇郁子, 宮松尚美, 落合亮太, 北村愛子, 瀬戸奈津子, 簗持知恵子 (2018). 編集委員会企画報告 臨床現場からの研究成果の発信—学会発表から論文投稿、査読・学会誌掲載までの事例教えます—. 日本循環器看護学会誌, 13(2), 16.

4 学会等での活動

- 1) 奥井良子, 白水真理子, 間瀬由記, 中原慎二, 谷口綾子, 佐々木杏子 (2017). 外来通院中の糖尿病患者の身体活動の実態. 第 11 回日本慢性看護学会学術集会抄録集, A83. 長野県佐久市 (佐久大学), 2017 年 7 月 1 日.
- 2) 望月紀子, 白水真理子, 宮芝智子 (2017). 看護学実習における看護教員が行っている実習指導者との協働. 日本看護学教育学会第 27 回学術集会講演集, 124. 沖縄県宜野湾市 (沖縄コンベンションセンター), 2017 年 8 月 17 日.
- 3) 近藤奈緒子, 白水真理子, 宮芝智子 (2017). 看護専門学校の若手教員による講義における授業案の改善. 日本看護学教育学会第 27 回学術集会講演集, 127. (沖縄コンベンションセンター), 2017 年 8 月 17 日.
- 4) 尾崎順子, 白水真理子, 間瀬由記 (2017). 糖尿病の専門性を有する看護師による軽度認知障害がある高齢糖尿病患者に対する薬物療法への支援. 日本糖尿病教育・看護学会第 22 回学術集会抄録集, 163. 福岡県福岡市 (福岡国際会議場), 2017 年 9 月 17 日.
- 5) Shiramizu M, Okui R, Mase Y, Nakahara S, Taniguchi A.(2017). Changes in physical activity resulting from blood glucose testing at health fairs. TNMC & WANS International Nursing Research Conference 2017, Bangkok, Thailand, October 20-22.
- 6) Mase Y, Shiramizu M, Okui R, Nakahara S.(2017). Effectiveness of SMBG in improving glycemic control and Health Literacy among Noninsulin-Treated Type 2 Diabetes Patients. TNMC & WANS International Nursing Research Conference 2017, Bangkok, Thailand, October 20-22.
- 7) 第 14 回日本循環器看護学会にて, 「臨床現場からの研究成果の発信—学会発表から論文投稿, 査読・学会誌掲載までの事例教えます」のテーマで, 編集委員会企画を実施した. 徳島県徳島市 (あわぎんホール), 2017.9.10.

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本循環器看護学会誌専任査読委員，2011.4.～
- 2) 日本糖尿病教育・看護学会誌専任査読者，2004.～
- 3) 日本慢性看護学会評議員，2006.～
- 4) 日本循環器看護学会誌編集委員，2016.10.21.～
- 5) 神奈川県看護協会倫理審査会委員，2012.7.～
- 6) 日本看護学教育学会専任査読者，2015.4.～
- 7) 日本看護学教育学会第27回学術集会企画委員，2016.9.20～

6 学内教育活動

1) 学部

成人看護学（慢性期）Ⅰ，成人看護学（慢性期）Ⅱ，成人看護学（慢性期）実習，統合実習，卒業研究.

2) 大学院

慢性看護学特論，慢性看護学演習，看護教育学特論，ヒューマンサービステ論，ヒューマンサービス演習，看護学特別研究.

3) 実践教育センター

教員・教育担当者養成課程（看護）看護教育課程論（成人看護学）.

教員・教育担当者養成課程（看護）看護教育方法（概論）.

実習指導者教育（講習会）成人看護分野の教育と実習指導.

7 学内各種委員会活動

- 1) 大学院保健福祉学研究科長，2017.4.～2018.3.
- 2) 大学院運営会議委員長，2017.4.～2018.3.
- 3) 研究助成選考専門部会委員，2017.4.～2018.3.

8 社会貢献

- 1) 慢性看護研究会の企画・運営，2017.7.21，2017.9.8，2018.2.16.
- 2) 健康フェアin横須賀，日々の足から健康習慣プロジェクト～血糖測定フェア～の企画・運営，2018.9.2.

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 谷口綾子主任研究者，白水眞理子研究分担者．健康に配慮した交通行動誘発のための学際的研究．学研究費助成事業（補助金）基盤研究（A），500千円，2017.4.1～2018.3.31.

11 学内研究助成金の受託

- 1) 安藤里恵，白水眞理子，間瀬由記．血糖測定フェア参加者が作成した身体活動活発化のためのアクションプランの傾向．神奈川県立保健福祉大学 研究助成 B(奨励研究)，295千円，2017.4.1～2018.3.31.

谷口 千絵 (大学院研究科兼務)

2 学術論文

- 1) Taniguchi, C.(2017).Health of Sedentary Women and Home Exercise: For Increased Adherence. J Psychol Psychother,7,315.doi: 0.4172/2161-0487.1000315.

4 学会等での活動

- 1) 藤平麻理子, 村上明美, 谷口千絵 (2018). 看護師国家資格を有する看護師の助産師職へのこだわり. 一般社団法人日本助産学会第8回(第32回)学術集会, 日本助産学会誌, 31(3), 303. (横浜).

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 一般社団法人日本助産学会専任査読委員, 2007.4.～
- 2) 一般社団法人日本助産学会教育・研修委員, 2008.4.～2018.3.
- 3) 日本保健科学学会評議員, 2008.10.～
- 4) 一般社団法人日本糖尿病教育・看護学会専任査読委員, 2010.4.～2018.9.30.
- 5) 一般社団法人日本看護研究学会査読委員, 2010.11.～
- 6) 公益社団法人日本助産師会安全対策委員, 2013.5.～
- 7) 日本赤十字看護学会誌専任査読委員, 2013.9.～
- 8) 日本赤十字看護学会研究支援委員会委員, 2015.7.1～2018年総会まで
- 9) 日本赤十字看護学会研究奨励賞選考委員, 2016.3.15～2018年総会まで
- 10) 日本赤十字看護学会研究助成選考委員, 2016.12.1～2018年総会まで
- 11) 一般社団法人日本助産学会第8回(第32回)学術集会企画実行委員・事務局長, 2017.1.10～2018.5.31.
- 12) 日本看護倫理学会第11回年次大会企画委員, 2017.2.27～2018.6.30.
- 13) 第22回日本糖尿病教育・看護学会学術集会抄録査読委員, 2017.5.16.

6 学内教育活動

- 1) 学部
リプロダクティブ・ヘルスケアⅡ, リプロダクティブ・ヘルスケア実習, 助産診断技術学Ⅰ, 地域母子保健, 助産学実習, 統合実習, 卒業研究.
- 2) 大学院
ウィメンズヘルスケア特論, ウィメンズヘルスケア演習.

7 学内各種委員会活動

- 1) 教務委員会, 2017.4.1～2018.3.31.
- 2) 看護学科教務委員, 2016.4.1～2017.3.31.

8 社会貢献

- 1) 実践教育センター看護実習指導者講習会（病院等）「母性看護学・助産学の教育と実習指導」, 2017.8.30. 「統合実習の教育と実習指導」, 2017.9.8.
- 2) 葛飾赤十字産院「倫理研修会Ⅱ」講師, 2017.10.13.
- 3) 葛飾赤十字産院「倫理研修会Ⅲ」講師, 2018.1.12.
- 4) 神奈川県移行教育をすすめる仲間の会「2年課程通信制夏季集中講座の学習会」母性看護学講師, 2017.7.30.
- 5) 日本医科大学武蔵小杉病院「現任教育プログラム臨地実習指導者ブラッシュアップ研修」講師, 2017.11.30.

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 谷口千絵研究代表. 母子のケアの連続性をめざした周産期母子医療センターと助産所の連携. 平成 29 年～30 年科学研究費補助金基盤研究 C, 2,860 千円, 2017.6.23～

11 学内研究助成金の受託

- 1) 谷口千絵研究代表. 看護職・社会福祉職・教職をめざす学生を対象として性暴力者支援に向けた啓発研修会の効果. 地域貢献研究センター助成金, 223 千円, 2017.5.10～2017.3.31.

野中 淳子（大学院研究科兼務）

2 学術論文

- 1) 岡澄子, 野中淳子, 米山雅子 (2017). NICU に入院した子どもの父親の体験に関する文献検討, 日本小児看護学会誌, 26, 78-83.

3 その他の著作

- 1) 野中淳子, 小川純子, 河上智香, 井上富美子 (2017). 国外研修報告 アイルランドにおける小児がん看護に関する研修報告 -Pediatric Nursing Study Tour-. 小児がん看護, 12(1), 55-65.

4 学会等での活動

- 1) 米山雅子, 野中淳子, 岡澄子 (2017). 病気や障がいの子どものきょうだい支援の実態と課題. 第 27 回日本小児看護学会学術集会講演集, 266. 京都, 8.20.
- 2) 阿部理絵, 岡澄子, 野中淳子 (2017). 妊娠 22 週未満で胎児異常を診断されこどもを生む意思決定をした母親の経験. 第 27 回日本小児看護学会学術集会講演集, 138. 京都, 8.20.
- 3) Junko Nonaka, Sumiko Oka, Masako Yoneyama, Mao Yamasaki, Kumiko Wada.(2017). Outcomes of Events to Support Pediatric Cancer Patients' Siblings, - Through Collaboration with a Pediatric Hospital and Nursing University -.49th Congress of the International Society of Pediatric Oncology. (October 13-15, 2017 in USA Washington DC)
- 4) Junko Nonaka, Masako Yoneyama, Sumiko Oka, Masayo Uchida.(2017). Current Status and Challenges of Support for Pediatric Cancer Patients' Siblings- An Analysis of Ward Managers' Free Descriptions -.49th Congress of the International Society of Pediatric Oncology. (October 13-15,2017 in USA Washington DC)
- 5) Masayo Uchida, Sachie Takeuchi, Fumi Shirai, Mie Ohara, Mika Hirata, Naoko Takenouchi, Junko Nonaka, Junko Ogawa, Michiko Mori.(2017).How Hospital Environment Influences Children's Cancer Nursing in Japan. 49th Congress of the International Society of Pediatric Oncology. (October 13-15,2017 in USA Washington DC)
- 6) 一般演題 口演 5 「長期フォローアップ 2」座長. 第 15 回日本小児がん看護学会学術集会抄録集, 429. 愛媛 ひめぎんホール, 2017.11.10.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 一般社団法人日本小児看護学会, 評議委員, 2017.6.11～2021.
- 2) 日本小児がん看護学会監事, 2017.1.～
- 3) 日本小児看護学会専任査読委員, 2008.～

- 4) 第 15 回日本小児がん看護学術集会, 理事会及び総会出席, 2017.11.10.
- 5) 横須賀市立乳幼児健康支援デイサービスセンター指定管理者審査委員, 2017.4.1～2018.3.31. (3 回).

6 学内教育活動

1) 学部

小児看護学Ⅰ, 小児看護学Ⅱ, 小児看護学実習, 統合実習, 卒業研究.

2) 大学院

小児看護学特論Ⅰ～Ⅳ, 小児看護学演習Ⅰ～Ⅱ, 小児看護学実習Ⅰ, 課題研究指導, 博士前期課程 看護領域 修士論文主審査および最終試験を行なった. 2 名.

3) 実践教育センター

看護実習指導者講習会 (病院等) 「小児看護学の教育と実習」講義.

教員・教育担当養成課程看護教育課程論(看護) 「小児看護学課程論(小児看護学)」講義.

7 学内各種委員会活動

- 1) 人権倫理委員会委員長, 2016.4.～2018.3.

8 社会貢献

- 1) 日本小児看護学会第 27 回学術集会オンライン査読, 2017.4.
- 2) 横須賀市立乳幼児健康支援デイサービスセンター指定管理者審査委員, 横須賀市こども育成部教育・保育支援課, はぐくみかん, 2017.6.～11.
- 3) 第 59 回日本小児血液・がん学会学術集会/第 15 回日本小児がん看護学会学術集会演題査読, 5 題, 2017.6.30.
- 4) 2 年課程通信夏季集中講座講師, 「小児看護学」講義, かながわ県民センター, 2017.7.30.
- 5) 第 3 回「きょうだいが主役になる日」スタンプラリー病院探検ツアーのイベント企画・開催, 地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立こども医療センター協催, 2017.7.30.
- 6) 平成 29 年度病気をもつ児のきょうだいへの支援, 一子どもたちのすこやかな成長を願ってー, 小田原保健福祉事務所足柄上センター主催, 秦野市立本町公民館, 2017.8.27.
- 7) 第 4 回こども医療センターエキスパートコース 看護研究指導, 看護研究中間発表会「看護研究における進捗状況の共有・意見交換」, 対象者 4 名, 2017.10.17.
- 8) 地方独立行政法人神奈川県立病院機構こども医療センター 第 81 回看護集談会, 看護研究発表会 講評, 2017.11.18.
- 9) 第 15 回日本小児がん看護学会学術集会 一般演題 抄録査読, 2017.7.
- 10) 一般社団法人日本小児看護学会第 27 回学術集会抄録 4 編オンライン査読, 2017.4.
- 11) 日本小児がん看護学会第 15 回学術集会抄録, 5 編オンライン査読, 2017.6.

- 12) 交流会：平成 29 年度きょうだい支援・交流会「病児のきょうだいへの支援」～子どもたちのすこやかな成長を願って～，対象者：ご家族、支援者等，秦野市本町公民館，2017.8.27.
- 13) 横須賀市乳幼児健康支援サービス指定管理者審査委員会，横須賀市役所 はぐくみ 3 階会議室，2017.6.～2017.3.
- 14) 第 5 回こども医療センターエキスパートコース講師，講義「看護研究に関する知識」，2018.1.22.
- 15) 日本小児看護学会誌 1 編の査読，2018.2.
- 16) 日本小児看護学会第 28 回学術集会オンライン査読，2018.2.

9 講演，放送

- 1) 放送：「きょうだい支援—きょうだいが主役になる日—」イベント，NHK ニュース放送，2017.7.30.
- 2) 講演：平成 29 年度きょうだい支援講演会「病児のきょうだいへの支援」～子どもたちのすこやかな成長を願って～，秦野市本町公民館，2017.8.27.
- 3) 講演：神奈川県立こども医療センター第 40 回ボランティア研修会，「病気や障がいのある子どものきょうだいの理解とかかわり」，神奈川県立こども医療センター講堂，2017.10.3.

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 野中淳子代表，米山雅子，岡澄子，内田雅代，古谷佳由理．小児がんの子どもへのきょうだい支援に関する看護介入プログラム開発．平成 26 年～29 年学術研究助成金基盤 C，938 千円，2017.4.1～2018.3.31.
- 2) 古谷佳由理研究代表，野中淳子研究分担者．小児慢性疾患患者における成人移行期支援のためのヘルスリテラシー尺度の開発．平成 26 年～29 年挑戦的萌芽研究，50 千円，2017.4.1～2018.3.31.
- 3) 内田雅代研究代表者，野中淳子研究連携者．小児がん看護の標準化を目指した「ガイドライン」の臨床活用の検討とケアモデルの開発．平成 26 年～29 年基盤研究 (B)，分担金なし，2017.4.1～2018.3.31.

11 学内研究助成金の受託

- 1) 米山雅子，野中淳子，和田由樹．対人援助職者の職業性ストレスモデル構築—病棟看護師を対象とした質問紙調査から—．研究助成 B(奨励研究)助成金，550 千円，2017.4.1～2018.3.31.

野村 美香（大学院研究科兼務）

1 著書

- 1) 野村美香(2018). 第 V 章特殊なニーズ充足に向けた看護技術 2. 生命の危機状態. 香春知永, 齋藤やよい編, 看護学テキスト Nice 基礎看護技術 第 3 版 (pp.237-252). 東京: 南江堂.

4 学会等での活動

- 1) 土井英子, 野村美香, 歌川美希, 大場美穂, 田代理沙, 小林珠実 (2018). 外来で化学療法を受ける大腸がん患者の治療前後の睡眠状況. 第 32 回日本がん看護学会学術集会講演集, 166. 千葉.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本がん看護学会, 専任査読者, がん看護に関する臨床研究ならびに理論開発に関する学術論文に対する査読を行う. 2010.4.～
- 2) 日本看護科学学会, 専任査読者, がん看護に関する臨床研究ならびに理論開発に関する学術論文に対する査読を行う. 2011.4.～

6 学内教育活動

1) 学部

成人看護学（急性期）Ⅰ, 成人看護学（急性期）Ⅱ, 成人看護学（急性期）実習, 統合実習, 卒業研究. 科目責任者として科目の運営を行い, 講義, 演習, 実習・研究指導を担当した. 2011.4.1～

2) 大学院

高度実践看護師教育課程に, 1 年次 3 名, 2 年次 3 名, 合計 5 名の院生を受け入れて, がん看護専門看護師コースのカリキュラム全体を運営した. がん看護学特論Ⅰ, がん看護学特論Ⅱ, がん看護学特論Ⅲ, がん看護学演習Ⅰ, がん看護学演習Ⅱ, がん看護学演習Ⅲががん看護学実習Ⅰの科目責任者として, 科目全体の運営を行った. がん看護学演習においては, 臨床応用力を高めるべく, 事例教材を開発した. がん看護学実習においては, 直接的な実習指導に加えて, 実習指導体制を確立した. 2 年次生 2 名に関しては, 主指導教員として, 看護課題研究の研究計画書作成を指導した.

3) 実践教育センター

がん患者支援講座において, 多職種を対象に「がんと診断された時からの緩和ケア」の講義を担当した. また, 卒後継続教育として実施されている認定看護管理者教育課程（ファースト）において, 「看護研究の基礎」「効果的なプレゼンテーション」, 教員・教育担当者養成課程において, 「研究計画書の作成」「プレゼン・抄録の作成法」の講義を担当した. さらに, 感染管理認定看護師の教育課程において, 文献検索・エビデンスベーストプラクティスに関する演習を担当した. ガイドラインを教材として活用

し、最新のエビデンスを探索する演習教材を開発した。

7 学内各種委員会活動

- 1) 入試委員，2017.4.1～2018.3.31.

8 社会貢献

- 1) 神奈川県看護協会 緩和ケア認定看護師教育課程において、事例研究指導と講評を行った。2015.10.1～2018.3.31.
- 2) オープンキャンパスにおいて、全体の円滑な運営をサポートし、相談コーナーを一部担当した。2017.8.4～5.
- 3) 高校生を対象とした進学説明会において、模擬授業を担当した。本学の理念を基盤として、専門領域である急性期看護の特徴や専門性について教授した。また、施設見学において、学習内容と関連させて、学内施設について解説した。2017.7.7.

9 講演，放送

- 1) 横須賀市民大学において、「緩和ケアの現場に学ぶ人生の終活－緩和ケアとの付き合い方－」をテーマに、一般市民 80 名を対象に講演を行った。緩和ケアの歴史と最新の動向、緩和ケアにまつわる死のイメージを払拭するよう、教材作成して取り組んだ。2017.8.31.

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 野村美香，土井英子，大場美穂，小林珠実，田代理沙。子宮頸がん検診の継続受診を促す統合的リスクコミュニケーションプロトコルの開発。科学研究費補助金 基盤研究 (C)，1,430 千円，2017.4.1～2021.3.31.
- 2) 小林珠実，土井英子，大場美穂，田代理沙，野村美香。高齢者ケア施設で死を看取る看護師のグリーフアセスメントに基づくケアモデルの構築。科学研究費補助金 基盤研究 (C)，650 千円，2017.4.1～2020.3.31.
- 3) 大場美穂，野村美香，小林珠実，大江真琴，竹原君江，土井英子，田代理沙。透析患者における足スクリーニングシステムの構築。科学研究費補助金 基盤研究 (C)，2,340 千円，2017.4.1～2020.3.31.

間瀬 由記 (大学院研究科兼務)

4 学会等での活動

- 1) 尾崎順子, 白水真理子, 間瀬由記 (2017). 糖尿病の専門性を有する看護師による軽度認知障害を伴う高齢糖尿病患者に対する薬物療法への支援. 日本糖尿病教育・看護学会誌 21 巻特別号, 163.
- 2) 間瀬由記, 白水真理子, 奥井良子, 中原慎二 (2017). Effectiveness of SMBG in improving glycemic control and Health Literacy among Noninsulin-Treated Type 2 Diabetes Patients. TNMC & WANS International Nursing Research Conference 2017.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本糖尿病教育・看護学会編集委員会, 専任査読者, 2016.4.1～2018.9.30.
- 2) 日本慢性看護学会編集委員会, 専任査読委員, 2016.10.16～2018.3.31.
- 3) 第 22 回日本糖尿病教育・看護学会学術集会一般演題査読者, 2017.5.
- 4) 神奈川県看護協会「看護研究推進支援事業」指導講師, 2017.6.～2018.3.
- 5) 日本看護教育学会第 28 回学術集会企画・実行委員, プログラム委員長, 2016.12.～2018.8.

6 学内教育活動

- 1) 学部
成人看護学 (慢性期) I, 成人看護学 (慢性期) II, 成人看護学 (慢性期) 実習, 終末期看護論, 臨床看護応用演習, 看護応用ゼミナール, 統合実習, 卒業研究, 老年看護学実習, 看護研究法 (1 コマ).
- 2) 実践教育センター
看護実習指導者講習会 (病院等) フォローアップ研修.
- 3) 大学院
慢性看護学特論, 慢性看護学演習, 看護学特別研究, 病態生理学 (1 コマ).

7 学内各種委員会活動

- 1) 大学院研究科運営委員, 2017.4.1～2018.3.31.
- 2) 看護学科教務委員, 2017.4.1～2018.3.31.
- 3) オープンキャンパス 看護学科相談コーナー担当, 2017.8.5.

8 社会貢献

- 1) 神奈川県立循環器呼吸器病センター看護職者研究指導, 2017.4.～2018.3.
- 2) 神奈川県立循環器呼吸器病センター看護専門研修事例研究指導・発表会講評, 2017.5～2017.9.9.
- 3) 横須賀共済病院臨床看護研究指導, 2017.6.～2018.2.

- 4) 「未病を改善！！ 目指そう生涯現役 健康フェア in 横須賀」への参加。
「日々の足から健康習慣プロジェクトー血糖測定フェアー」と題して、横須賀市民を対象に身体計測（身長・体重・血圧・血糖）と身体活動の振り返りを行い、それに基づいた健康指導を1日間実施した。2017.8.20.
 - 5) 慢性看護研究会の主催・大学HPへの掲載。
平成24年に成人看護学（慢性期）領域の有志3名で研究会を立ち上げた。平成29年度は、2回の講演会を実施した。2017.6.24, 2018.2.16.
- 10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託
- 1) 谷口綾子研究代表者，白水真理子，中原慎二，間瀬由記．健康に配慮した交通行動誘発のための学際的研究．平成25～29年度学術振興会科学研究費補助金 基盤研究(A)，360千円，2017.6.1～2018.3.31.
 - 2) 安藤里恵研究代表者，白水真理子，間瀬由記．血糖測定フェア参加者が作成した身体活動活発化のためのアクションプランの傾向．平成29年度神奈川県立保健福祉大学研究助成B（奨励研究）助成金，295千円，2017.6.1～2018.3.31.

水戸 優子 (大学院研究科兼務)

1 著書

- 1) 水戸優子 (2018). 2 活動・運動. 香春知永, 齋藤やよい編, 看護学テキスト NICE 基礎看護技術 改訂版第 3 版 (pp.236-263). 東京: 南江堂.

2 学術論文

- 1) 水戸優子, 西田直子, 若村智子, 國澤尚子, 平田美和, 小林由実, 富田川智志 (2018). 看護職者による患者移動動作ガイドライン作成に向けた基礎研究: 車椅子移乗介助に関する実態調査. 神奈川県立保健福祉大学誌, 15(1), 63-70.

3 その他の著作

- 1) 水戸優子 (2017). 書評 糸賀暢子,他 看護教育のためのパフォーマンス評価 ルーブリック作成からカリキュラム設計へ. 看護教育, 58(12), 1037.

4 学会等での活動

- 1) 西田直子, 水戸優子, 國澤尚子, 芳村智子, 平田美和, 小林由実, 富田川智志 (2017). 交流セッション 4 移動動作 Q&A の作成に向けての検討. 日本看護技術学会第 16 回学術集会講演抄録集, 121.
- 2) 水戸優子, 芳村直美, 小林由実 (2017). 交流セッション 7 口から食べるを支える摂食・嚥下ケアとフィジカルアセスメント. 日本看護技術学会第 16 回学術集会講演抄録集, 124.
- 3) 小林由実, 水戸優子 (2017). 患者をベッド上で側方移動させる際の看護者の動作分析 素手・スライディングシート・ポジショニンググローブの比較. 日本看護技術学会第 16 回学術集会講演抄録集, 64.
- 4) 水戸優子, 小林由実 (2017). 患者をベッド上で側方移動させる際の看護者の筋活動の分析 素手・スライディングシート・ポジショニンググローブの比較. 日本看護技術学会第 16 回学術集会講演抄録集, 65.
- 5) 卒業研究交流セッション 2 群座長. 日本看護技術学会第 16 回学術集会講演抄録集, 18.
- 6) 水戸優子, 野崎真奈美, 渡辺かつみ, 平塚厚子, 田上晶子, 渥美美保 (2017). 臨地実習の流動性を含めて評価するルーブリック評価の試み. 日本看護学教育学会第 27 回学術集会プログラム・講演集, 114.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本看護技術学会, 理事, 研究活動推進委員長, 専任査読委員, 理事, 研究活動推進委員長として看護技術の研究活動の推進, 大会賞・優秀賞の選出, 研究助成の選考を行った. さらに日本看護技術学会に投稿された論文の査読を行った. 2017.4.～2018.3.

- 2) 日本看護技術学会, 技術研究成果検討委員 (移動動作評価グループ), 看護系学会等社会保険連合委員,
日本看護技術学会において移動動作評価グループに所属し, 研究活動を行うとともに, 看護系学会等社会保険連合会議に年 3 回出席し, 診療報酬改定に向けて提案活動を行った. 2017.4.～2018.3.
- 3) 日本看護学教育学会, 教育活動委員会委員, 専任査読者,
年 3 回の会議および頻繁のメール会議に出席し看護教育の向上に向けた活動を行い, 特に第 3 回臨地実習指導研修会「今, 改めて臨地実習指導とは(基礎編)」, 第 5 回看護ハナマル先生模擬授業を企画, 運営を行った. 2017.4.～2018.3.
- 4) 日本看護学教育学会, 第 28 回学術集会事務局長, 総務, 広報渉外委員長, 2017.4.～2018.3.
- 5) バイオメカニズム学会, 理事, シンポジウム編集委員,
年 4 回の会議に出席し, 財務理事を担当するとともに優秀論文の推薦を行った. またシンポジウム編集委員として査読, 編集を行った. 2017.4.～2018.3.
- 6) 保健師助産師看護師試験委員,
年 5 回の会議に出席し保健師助産師看護師試験に関する検討を行った. 2017.5.～2018.3.
- 7) 平成 30 年度「第三次産業労働災害防止対策支援事業(保健衛生業)に係る総合評価落札方式技術審査委員会」委員, 2018.3.
- 8) 聖路加看護学会 評議員, 2016.6.～2018.3.
- 9) 日本人間工学会看護人間工学部会長,
部会長として事務局運営, 本会との連絡, 研究誌の発行, 研究会総会の開催を行った. 2017.4.～2018.3.

6 学内教育活動

1) 学部

看護学原論, ヘルスアセスメント論, 看護理論概説, 看護技術論Ⅰ, 看護技術論Ⅱ, 看護技術論Ⅲ, 看護倫理, 看護応用ゼミナール, 基礎看護学実習Ⅰ, 基礎看護学実習Ⅱ, 統合実習, 卒業研究.

2) 大学院 (博士前期課程)

基礎看護学特論, 基礎看護学演習, フィジカルアセスメント, 病態生理学, 看護倫理, 看護学特別研究の科目を担当し, 指導教員として 3 名の大学院生を指導した. さらに 1 名の修士論文審査の主査を行った.

(博士後期課程) 包括支援看護特論, 包括支援看護演習, 保健福祉学特別研究の科目を担当し, 指導教員として 1 名の大学院生を指導した.

3) 実践教育センター

認定看護管理者教育課程(サード)の科目「研究論文のクリティーク」について 8 時間の講義を行った.

実習指導者講習会の科目「基礎看護学の教育と実習指導」「看護論(2)看護過程」について各 8 時間の授業を行った.

7 学内各種委員会活動

- 1) 学生委員長, 2017.4.～2018.3.
- 2) 看護学科学生委員長, 2017.4.～2018.3.
- 3) 看護学科教務委員, 2017.4.～2018.3.

8 社会貢献

- 1) 横須賀市立うわまち病院の4部門の看護職者研究グループの研究指導を会議とEメールにて行った. 2017.12.～2018.2.
- 2) 横須賀共済病院の4部門の看護職者研究グループの研究指導を会議とEメールにて行った. 2017.6.～2018.2.
- 3) 東名厚木病院の12部門の看護職者研究グループの研究指導を会議とEメールにて行った. 2017.6.～2018.3.
- 4) 平成29年度横須賀市市民大学・保健福祉大学共催夏期特別講座において『『口から食べる』を続けるためのいろは第2弾』の講義を行った. 2017.8.25.
- 5) 町田市在宅ケアをもっとよくする市民の会サポーター. 2017.11.4～2018.2.2.

9 講演, 放送

- 1) 日本看護学校教務主任養成講習会(大阪)「教育評価」「教育評価演習」講師. 2017.8.～2017.10.
- 2) 神奈川県看護協会による平成29年度認定看護管理者教育課程セカンドレベルヘルスケアサービス管理論の講師として講演を行った. 2017.12.
- 3) 岩手県立大学大学院博士後期課程院生1名の外部指導教員として指導を行った. 2017.4.～2018.3.
- 4) 山梨県立大学看護学教育特別講義非常勤講師として講義を行った. 2017.11.

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 水戸優子代表, 小林由実, 西田直子, 若村智子分担. 新たな腰痛予防対策指針をふまえた看護基礎教育における移動技術教育プログラムの開発. 平成29年度科学研究費基盤研究(C), 2,080千円, 2017.3.～2018.3.

11 学内研究助成金の受託

- 1) 水戸優子代表, 芳村直美分担. 摂食・嚥下障害を有する要介護高齢者の食を支援する地域包括研究ケアシステム構築に向けたニーズ調査. 平成29年度地域貢献研究センター研究助成, 153千円, 2017.6.～2018.3.

宮芝 智子（大学院研究科兼務）

2 学術論文

- 1) 牛尾裕子, 宮芝智子 (2018). 地域看護学教員が参加したルーブリックモデレーションワークショップのプロセス評価. 兵庫県立大学看護学部地域ケア研究所紀要, 25, 31-40.

4 学会等での活動

- 1) 近藤奈緒子, 白水真理子, 宮芝智子 (2017). 看護専門学校の手教員による講義における授業案の改善. 日本看護学教育学会第 28 回学術集会講演集, 127. 8 月 (沖縄).
- 2) 望月紀子, 白水真理子, 宮芝智子 (2017). 看護学実習における看護学教員が行っている実習指導者との協働. 日本看護学教育学会第 28 回学術集会講演集, 124. 8 月 (沖縄).
- 3) 宮芝智子, 牛尾裕子, 嶋沢順子, 塩見美抄他 (2017). 看護基礎教育における地区活動演習の課題提出物を評価する基準に影響する要素. 第 37 回日本看護科学学会学術集会抄録集. 12 月 (宮城).

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本看護教育学会 査読委員, 2007.4.1.～
- 2) 日本看護教育学会 編集委員, 2011.4.1.～
- 3) 千葉看護学会 専任査読者, 2016.4.～
- 4) 日本看護教育学会第 27 回学術集会 学術集会会長, 2016.11.～2017.10.
- 5) 日本看護教育学会第 28 回学術集会 企画局長, 2017.11.～
- 6) 日本看護学教育学会第 28 回学術集会 企画運営委員, 2017.12.～

6 学内教育活動

- 1) 学部
看護教育学, エビデンスベーストナーシング, 問題に基づく学習法, 臨床看護応用演習, 基礎実習 I, 慢性看護実習, 統合実習, 卒業研究.
- 2) 大学院
博士前期課程: 看護教育学特論, 看護理論, 看護教育学演習, 看護学特別研究.
博士後期課程: 包括支援看護学特論, 包括支援看護学演習.
- 3) 実践教育センター
実習指導者講習会「教育課程総論」, 「実習評価」, 「実習指導の原理」.

7 学内各種委員会活動

- 1) 大学院研究科運営会議, 2017.4.～2018.3.
- 2) 大学院研究科入試委員会 副委員長, 2017.4.～2018.3.
- 3) 看護学科教務委員会 副委員長, 2017.4.～2018.3.

8 社会貢献

- 1) 東海大学大学院修士課程の「看護教育論」の講師担当．2017.9.～2017.11.
- 2) 横浜市立東高等学校における出張講義．2017.12.
- 3) 鳥取看護大学看護学部看護学科の「看護ケア論」の講師担当．2018.1.
- 4) 神奈川県医師会看護教員継続研修の講師担当．2018.3.

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 牛尾裕子研究代表者，嶋澤順子，塩見美抄，田村須賀子研究分担者，宮芝智子連携研究者．看護学士課程における「コミュニティに焦点を当てた看護」教授一学習モデルの開発．科学研究費補助金（基盤研究C），4680千円，2016年度～2018年度．

岡 澄子（大学院研究科兼務）

4 学会等での活動

- 1) Junko Nonaka, Sumiko Oka, Masako Yoneyama, Maho Yamazaki, Kumiko Wada.(2017).Support Pediatric Cancer Patients' Siblings - Through Collaboration with a Pediatric Hospital and Nursing University -. 49th Congress of the International Society of Pediatric Oncology (SIOP). October 12-25 (Washington, DC)
- 2) 阿部理絵, 岡澄子, 野中淳子 (2017). 妊娠 22 週未満で胎児異常を診断された子どもを生む意思決定をした母親の経験. 日本小児看護学会第 27 回学術集会講演集, 138.
- 3) 米山雅子, 野中淳子, 岡澄子 (2017). 病気や障がいの子どものきょうだい支援の実態と課題-看護師への相談内容に関する自由記述の分析から. 日本小児看護学会第 27 回学術集会講演集, 266.
- 4) 一般演題「口演⑫（家族への看護の技②）」座長. 日本小児看護学会第 27 回学術集会.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 特定非営利活動法人日本小児がん看護学会, 専任査読委員, 2017.4.～2018.3.
- 2) 一般社団法人日本小児看護学会, 専任査読者, 2017.4.～2018.3.

6 学内教育活動

- 1) 学部
小児看護学 I, 小児看護学 II (科目責任者), 小児看護学実習, 統合実習, 卒業研究, 看護応用ゼミナール.
- 2) 大学院
小児看護学特論 I, 小児看護学特論 II, 小児看護学特論 III, 小児看護学特論 IV, 小児看護学演習 I, 小児看護学演習 III, 小児看護学実習 I, 看護課題研究, 臨床薬理学 (科目責任者).

7 学内各種委員会活動

- 1) 全学実習センター運営委員会 (委員長), 2017.4.～2018.3.
- 2) 看護学科実習委員会 (委員長), 2017.4.～2018.3.
- 3) 看護学科教務委員会, 2017.4.～2018.3.
- 4) 看護領域大学院研究科委員会, 2017.4.～2018.3.

8 社会貢献

- 1) 神奈川県立こども医療センター, 「きょうだいが主役になる日」きょうだい支援イベント (野中淳子代表の科学研究費補助金を受けて実施) の開催準備・運営, 2017.7.30.
- 2) 神奈川県立こども医療センター, エキスパートナースコース履修の看護職者研究指導,

2017.4.～2018.3.

3) 一般社団法人日本小児看護学会, 第 27 回学術集会一般演題査読, 2017.3.

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

1) 野中淳子代表, 内田雅代, 岡澄子, 米山雅子, 古谷佳由理. 小児がんの子どものきょうだい支援に関する看護介入プログラムの開発. 科学研究費補助金 基盤研究 (C), 1200 千円, 2017.4.～2018.3.

金壽子（大学院研究科兼務）

1 著書

- 1) 金壽子（2018）. アセスメントの視点を身に付ける. 系統別アセスメント 基礎看護学② ヘルスアセスメント 第5版 ナーシンググラフィカ (pp.44-45). 大阪：メディカ出版.
- 2) 金壽子（2018）. 乳房・腋窩のアセスメント. 系統別アセスメント 基礎看護学② ヘルスアセスメント 第5版 ナーシンググラフィカ (pp.116-127). 大阪：メディカ出版.
- 3) 金壽子（2018）. 系統別アセスメントと頭尾法を統合して. 系統別アセスメント 基礎看護学② ヘルスアセスメント 第5版 ナーシンググラフィカ (pp.188-192). 大阪：メディカ出版.
- 4) 金壽子（2018）. 自己知覚／自己概念パターン, ゴードンの11の機能的健康パターン. アセスメントガイドを用いた情報の整理と看護計画 基礎看護学② ヘルスアセスメント 第5版 ナーシンググラフィカ (pp.305-309). 大阪：メディカ出版.

4 学会等での活動

- 1) Kim.S, Hong.E.(2017). Challenges related to Health-Checkups and Detecting Health Warning Signs of Adults with an Intellectual Disability (ID) Living in the Community. 2nd Nursing World Conference in Las Vegas, USA.
- 2) Kim.S, Hong.E.(2017). Detecting Health Warning Signs of People with Intellectual Disability (ID) Having Difficulty in Express Symptoms in the Community. 37th Asia-Pacific Nursing and Medicare Summit in Osaka, Japan.

6 学内教育活動

1) 学部

看護技術論Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ, 基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ, 看護倫理, 統合実習, 卒業研究, 臨床看護応用演習を担当した.

International Friendship Circle の顧問として学生活動を支援した.

2) 大学院

前期課程：基礎看護学特論, 基礎看護学演習, フィジカルアセスメント, 看護学特別研究.

後期課程：包括支援看護特論, 包括的支援看護演習.

3) 実践教育センター

認定看護管理者教育課程（セカンドレベル）看護研究（研究論文のクリティーク）8時間担当.

7 学内各種委員会活動

- 1) 学科学生委員（2年次担当）, 2017.4.～2018.3.

8 社会貢献

- 1) 小田原市立市民病院新人看護師研修，神奈川県内の病院への社会貢献として，フィジカルアセスメント研修を担当した．2017.5.
- 2) 千葉県看護学校協議会（千葉）看護教員研修，県外への社会貢献として，フィジカルアセスメント研修を行った．2017.7
- 3) 平成 29 年度横須賀市市民大学（夏期特別講座）保健福祉大学共催講座 よこすかジュニアカレッジで小学校 5・6 年生（10 名程度及び親やきょうだい同伴）を対象に「おなかにいたときにタイムスリップ！ーいのちの大切さを考えてみようーとしていのち授業を行った．2017.8.
- 4) 横須賀共済病院の実習指導者会議でのゲストスピーカーとして参加し、有意義な実習展開に関する意見交換を行った．2018.1.
- 5) 三重県立一志病院にて「五感をフル活用してからだの状態をアセスメントしよう大作戦！」として近隣の医療機関に勤務する看護師等 20 名に対しフィジカルアセスメント研修を行った．2018.3.
- 6) 横須賀市民病院看護研修，県内への社会貢献として，看護研究に関する指導を 6 回行った．2017.5.～2018.3.
- 7) 神奈川県内でフィジカルアセスメントチームを有する 2 病院の看護師希望者を対象に特別企画“フィジカルアセスメント研修会（アドバンス編）を 2 回行い，5 名（フィジカルアセスメントチーム担当者及び実習指導担当者）が参加した．2018.3.

9 講演，放送

- 1) 国立病院機構近畿ブロック（大阪）平成 29 年度保健師助産師看護師実習指導者講習会「フィジカルアセスメント」講義・演習を担当．2017.8.

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 金壽子研究代表. 自覚症状の言えない知的障害者の健康危険サインキャッチへの挑戦. 平成 27 年度科学研究費補助金挑戦的萌芽研究，900 千円，2017.4.～2018.3.

小林 珠実（大学院研究科兼務）

1 著書

- 1) 小林珠実（2018）. 第 8 章終末期医療と尊厳死. 霜田求編, テキストブック生命倫理 (pp.85-96). 京都: 法律文化社.

4 学会等での活動

- 1) 土井英子, 野村美香, 歌川美希, 大場美穂, 田代理沙, 小林珠実 (2018). 外来で化学療法を受ける大腸がん患者の睡眠の実態. 第32回日本がん看護学会学術集会講演集, 2018.2.3. (幕張).

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本緩和医療学会教育・研修委員会 ELNEC-J コアカリキュラム指導者, ELNEC-J コアカリキュラム講師 WG, 2016.8.～2018.7.

6 学内教育活動

1) 学部

成人看護学（急性期）Ⅰ, 成人看護学（急性期）Ⅱ, 成人看護学（急性期）実習, 統合実習, 臨床看護応用演習, 卒業研究.

2) 大学院

がん看護学特論Ⅰ, がん看護学特論Ⅲ, がん看護学特論Ⅳ, がん看護演習Ⅰ, がん看護学演習Ⅲ, がん看護学実習Ⅰ, がん看護学実習Ⅱ, がん看護学実習Ⅲ, 看護課題研究.

3) 実践教育センター

平成 29 年度感染管理認定看護師教育課程における文献検索・文献購読. 2017.5.19.
平成 29 年度がん患者支援講座 プログラム<講座 4>がん患者の症状緩和Ⅱがんサバイバーを支えるコミュニケーション～「ひとりで抱え込まない」ための支援. 2017.12.9.

7 学内各種委員会活動

- 1) 研究委員会委員, 2017.4.～2018.3.
- 2) FD 委員会委員, 2017.4.～2018.3.
- 3) 看護学科 FD 委員長, 2017.4.～2018.3.

8 社会貢献

- 1) 川崎市立川崎病院における事例研究指導, 2017.6.～2017.12.
- 2) 第 19 回 ELNEC-J コアカリキュラム指導者養成プログラム, 2018.2.17～2.18.東京.
- 3) すい臓がん啓発チャリティーイベント『パープルストライド神奈川・東京 2017』ボランティア, 2017.11.5.

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 小林珠実 (研究代表者), 大場美穂 (研究分担者), 土井英子 (研究分担者), 田代理沙 (研究分担者), 野村美香 (分担研究者). 高齢者ケア施設で死を看取る看護師のグリーフアセスメントに基づくケアモデルの構築. 平成 29～31 年度文部科学研究費補助金 (基盤研究 C), 1,560 千円, 2017.4.1～2020.3.31.
- 2) 野村美香 (研究代表者), 大場美穂 (研究分担者), 土井英子 (研究分担者), 田代理沙 (研究分担者), 小林珠実 (分担研究者). 子宮頸がん検診の継続受診を促す統合的リスクコミュニケーションプロトコルの開発. 平成 29～31 年度文部科学研究費補助金 (基盤研究 C), 4,290 千円, 2017.4.1～2021.3.31.
- 3) 大場美穂 (研究代表者), 野村美香 (研究分担者), 土井英子 (研究分担者), 田代理沙 (研究分担者), 小林珠実 (分担研究者). 透析患者における足スクリーニングシステムの構築. 平成 29～31 年度文部科学研究費補助金 (基盤研究 C), 4,550 千円, 2017.4.1～2020.3.31.

田辺 けい子 (大学院研究科兼務)

3 その他の著作

- 1) 田辺けい子 (2017). 安全と安心、両輪のバランスが取れた無痛分娩をいま助産師の手で. ペリネイタルケア, 38(2), 77-81.

4 学会等での活動

- 1) 一般演題 (母子保健) 座長. 第 58 回日本母性衛生看護学会学術大会.
- 2) 一般演題 (分娩 2) 座長. 第 32 回日本助産学会学術集会.
- 3) 「文化人類学の〈手法〉を用いた看護研究の実際」講師. 文化看護学会研修会. 2017.12.9.
- 4) 「文化人類学の〈手法〉を用いた看護研究の実際」講師. 文化看護学会第 10 回学術大会にてビデオ上映 (2 回). 2017.3.18.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 一般社団法人日本母性衛生学会, 幹事, 2013.8.～
- 2) 一般社団法人日本母性衛生学会, 学会誌査読委員, 2013.8.～
- 3) 一般社団法人日本母性看護学会, 学会誌専任査読委員, 2007.8.～
- 4) 第 58 回母性衛生学会学術集会, 一般演題抄録査読委員, 2017.4.1～2018.3.31.
- 5) 第 19 回日本母性看護学会学術集会, 一般演題抄録査読委員, 2017.4.1～2018.3.31.
- 6) 第 32 回日本助産学会学術集会, 実行委員, 2017.1.10～2018.5.末日
- 7) 第 32 回日本助産学会学術集会, 企画委員, 2017.1.10～2018.5.末日

6 学内教育活動

- 1) 学部
リプロダクティブ・ヘルスケアⅡ, リプロダクティブ・ヘルスケア実習,
助産診断技術学Ⅳ, ウィメンズヘルスケア, 助産学実習,
臨床看護応用演習, 統合実習, 卒業研究.
- 2) 大学院
ウィメンズヘルスケア演習, 看護学特別研究.

7 学内各種委員会活動

- 1) 図書・情報委員 (自己評価委員), 2017.4.1～2018.3.31.
- 2) チューター, 2017.4.1～2018.3.31.
- 3) 看護学科 実習委員, 2017.4.1～2018.3.31.

8 社会貢献

- 1) 神奈川県立衛生看護専門学校 非常勤講師, 「看護研究Ⅰ」, 2018.1.～2018.2.
- 2) リプロダクティブ・ヘルスケア/助産学領域主催定例研究会幹事, 2017.4.1～

2018.3.31.

14 その他

- 1) 読売新聞（朝刊 3 面）「無痛分娩 義務なき安全策（厚労省研究班が提言案）」．妊産婦の不安を払拭できる安全体制づくりができなければ、産科医療の社会的信頼をなくしかねないとコメント． 2018.3.5.
- 2) 読売新聞（朝刊くらし面）「医療ルネサンス No.6625（無痛分娩：「お産と麻酔」連携が大切）」．安全な無痛分娩のための体制整備に関して、自身の研究成果を踏まえてコメント． ※『受けたい医療 2018 年版 ISBN978-4-643-17007-8』読売新聞医療部（編）181 頁に再掲．
- 3) 取材協力，NHK「おはよう日本」（けさのクローズアップ：“痛くない”お産 どんな施設がいいのか）． 2017.8.18 放送．
- 4) メディカ出版「PERINATAL CARE（ペリネイタルケア）」 編集協力委員，2017～

吉田 安子（大学院研究科兼務）

4 学会等での活動

- 1) 市民公開講座 I 「国際都市横浜の誕生」座長．第 32 回日本助産学会学術集会．

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 第 32 回日本助産学会学術集会企画委員，2017.1.10～2018.5.
- 2) 第 32 回日本助産学会学術集会実行委員，2018.3.3～4.
- 3) 第 32 回日本助産学会学術集会査読，2017.10.13～10.20.
- 4) 第 20 回日本母性看護学会学術集会査読，2018.3.23.～
- 5) 日本母性看護学会誌専任査読委員，2017.6.11.～
- 6) 高知女子大学看護学会誌査読委員，2018.3.1.～

6 学内教育活動

1) 学部

リプロダクティブ・ヘルスケア I，リプロダクティブ・ヘルスケア II，
リプロダクティブ・ヘルスケア実習，助産診断技術学 III，助産学実習，統合実習．

7 学内各種委員会活動

- 1) 研究倫理審査委員会，2017.4.～2018.3.
- 2) 国際協働ワーキンググループ，2017.4.～2018.3.

8 社会貢献

- 1) リプロダクティブ・ヘルスケア／助産学領域主催定例研究会，2017.4.～2017.3.
- 2) 全国助産師教育協議会「特定分野（助産）における保健師助産師看護師実習指導者講習会」，助産学実習指導の実際 I（講義），助産学実習指導の実際（演習），2017.7.～8.
- 3) 川崎市立川崎病院，平成 29 年度事例研究段階指導及び発表会講評，講師，2017.6.～11.

渡部月子（大学院研究科兼務）

1 著書

- 1) 渡部月子（2018）. 標美奈子他編集, 標準保健師講座・1 公衆衛生看護学概論改定版 (pp.24-33,51-54,115-141). 東京: 医学書院.
- 2) 渡部月子（2018）. 中村裕美子他編集, 標準保健師講座・2 公衆衛生看護技術改定版 (pp.100-105,181-203). 東京: 医学書院.
- 3) 渡部月子（2018）. 基有桂他編集, 在宅看護論①地域療養を支えるケア 改訂版 (pp.142-143). 大阪: メディカ出版.

2 学術論文

- 1) 櫻井尚子, 滝澤寛子, 渡部月子, 星旦二（2018）. 「地域への愛着」を測定する尺度の開発ー都市郊外のグループ活動に参加している高齢者における検討ー. 社会医学研究, 35(1), 83-97.

3 その他の著作

- 1) 渡部月子（2017）. 高齢者の就労、介護状況と地域における保健師活動. 労働の科学, 73(1), 30-34.
- 2) 渡部月子（2018）. 骨密度測定ースティフネス値・同年代比較・骨粗鬆症スクリーニングテストー平成 29 年度高齢者における健康増進のための総合的追跡研究報告書. 11-14.

4 学会等での活動

- 1) 武藤三千代, 渡部隼二, 若山葉子, 渡部月子（2017）. ラジオ体操を継続している高齢者の生活習慣と健康関連 QOL について. 第 76 回日本公衆衛生学会総会抄録集, 498.
- 2) 若山葉子, 武藤三千代, 渡部隼二, 渡部月子, 川田智之（2017）. 中高年を対象とした「運動教室」参加者の健康調査成績ー2003-2016 年の推移ー. 第 76 回日本公衆衛生学会総会抄録集, 542.
- 3) 渡部月子（2018）. 地域健康体操教室に参加している女性高齢者の 4 年後の骨密度の変化と生活活動力との関連. 第 6 回日本公衆衛生看護学会学術集会講演集, 197.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 鎌倉市高齢者保健福祉計画等推進委員会, 副委員長, 2017.4.～2018.3.
- 2) 鎌倉市介護保険運営協議会, 副委員長, 2017.4.～2018.3.
- 3) 横須賀市保健医療推進対策協議会健康増進計画・食育推進計画専門部会, 2017.4.～2018.3.
- 4) 神奈川県保険医協会倫理審査委員会, 2017.4.～2018.3.
- 5) 鎌倉市介護保険施設等整備事業者選定委員会, 2017.7.

- 6) 鎌倉市地域密着型サービス事業者選定委員会, 2017.10.
- 7) 日本運動・スポーツ科学学会査読委員, 2017.4.～2018.3.
- 8) 日本公衆衛生看護学会査読委員, 2017.4.～2018.3.
- 9) 日本社会医学会査読委員, 2017.4.～2018.3.

6 学内教育活動

1) 学部

地域看護学Ⅰ, 地域看護学Ⅱ, 地域看護学実習, 公衆衛生看護活動論, 在宅看護学実習, 公衆衛生看護演習Ⅰ, 公衆衛生看護演習Ⅱ, 公衆衛生看護学実習, 統合実習, 卒業研究.

2) 実践教育センター

教員・教育担当者養成課程(看護)看護研究計画演習.

7 学内各種委員会活動

- 1) 自己評価委員会, 2017.4.～2018.3.
- 2) 看護学科教務委員会, 2017.4.～2018.3.

8 社会貢献

- 1) 慶応義塾大学看護医療学部非常勤講師「健康教育技法」. 2017.5.～6.
- 2) 川崎市幸区自主グループ交流会講師「地域で健康づくりをすることの意義や活動継続のポイント」. 2017.11.
- 3) 神奈川県看護実習指導者講習会(特定分野)講師. 2017.11.

11 学内研究助成金の受託

- 1) 松尾裕子, 岩崎俊晴, 五味郁子, 渡部月子. 高齢者における疫学的健康調査. 平成29年度神奈川県立保健福祉大学研究助成A(協働研究), 122千円, 2017.4.～2018.3.
- 2) 松尾裕子, 岩崎俊晴, 五味郁子, 渡部月子. 高齢者における疫学的健康調査. 平成29年度地域貢献研究センター研究助成, 78千円, 2017.4.～2018.3.

大場 美穂

2 学術論文

- 1) 大江真琴, 濱谷雅子, 野口博史, 大場美穂, 竹原君江, 大橋優美子, 植木浩二郎, 門脇孝, 森武俊, 真田弘美 (2017). 糖尿病患者における足部胼胝の要因: カルテ調査による検討. 日本創傷・オストミー・失禁管理学会誌, 20(4), 426-433.

4 学会等での活動

- 1) 土井英子, 野村美香, 歌川美希, 大場美穂, 田代理沙, 小林珠実. 外来で化学療法を受ける大腸がん患者の睡眠の実態. 日本がん看護学会誌, 第32回日本がん看護学会学術集会講演集, 166. 千葉. 2018.2.3-4.

6 学内教育活動

- 1) 学部
成人看護学(急性期)Ⅱ, 成人看護学(急性期)実習, 統合実習, 卒業研究, 臨床看護応用演習, 看護応用ゼミナール, 老年看護学実習, 基礎看護学実習Ⅱ.
- 2) 実践教育センター
教員・教育担当者養成課程看護コース「看護研究計画演習」.

7 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科実習委員会, 2017.4.～2018.3.
- 2) 看護学科2年生担任, 看護学科学生委員会メンバー, 2017.4.～2018.3.

8 社会貢献

- 1) 第1回ニューカッスル大学との交流会開催, 2017.4.6.
- 2) 横須賀米海軍病院日米合同看護シンポジウム参加, 2018.2.12.

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 大場美穂研究代表者. 透析患者における足のスクリーニングシステムの構築. 日本学術振興会科学研究費補助金 科研費基盤 C, 1,500 千円, 2017.4.～2018.3.
- 2) 野村美香研究代表者, 大場美穂分担研究者. 子宮頸がん検診の継続受診を促す統合的リスクコミュニケーションプロトコルの開発. 日本学術振興会科学研究費補助金 科研費基盤 C, 50 千円, 2017.4.～2018.3.
- 3) 小林珠実研究代表者, 大場美穂分担研究者. 高齢者ケア施設で死を看取る看護師のグリーンアセスメントに基づくケアモデルの構築. 日本学術振興会科学研究費補助金 科研費基盤 C, 50 千円, 2017.4.～2018.3.

土井 英子

4 学会等での活動

- 1) 土井英子, 眞嶋朋子 (2018). 放射線療法を受ける頭頸部がん患者の口腔粘膜炎に対する自己管理過程. 第 32 回日本がん看護学会学術集会講演集, 165.
- 2) 土井英子, 野村美香, 歌川美希, 大場美穂, 田代理沙, 小林珠美 (2018). 外来で化学療法を受ける大腸がん患者の睡眠の実態. 第 32 回日本がん看護学会学術集会講演集, 166.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 教育セミナー「経口抗がん剤服用患者の口腔衛生マネジメント」座長. 32 回日本がん看護学会学術集会講演集, 27.

6 学内教育活動

- 1) 学部
成人看護学(急性期)Ⅱ, 成人看護学(急性期)実習, 災害看護論, 統合実習, 卒業研究, 看護応用ゼミナール.

7 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科教務委員, 2017.4.1～2018.3.31.
- 2) 看護学科学生委員会 4年生担任, 2017.4.1～2018.3.31.
- 3) 時間割編成ワーキンググループ補佐, 2017.4.1～2018.3.31.

8 社会貢献

- 1) パープルストライド 2017 東京・神奈川 実行委員, 2017.11.5.

松坂 由香里

4 学会等での活動

- 1) 松坂由香里 (2017). 母子保健を担う保健師の家族支援実践力の現状－実践力の実態と保健師自ら能力向上のために行っていること－. 日本家族看護学会第 24 回学術集会講演集, 89.
- 2) 松坂由香里 (2017). 母子保健業務に携わる保健師の家族支援実践力とその関連要因. 第 37 回日本看護科学学会学術集会.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本家族看護学会査読委員, 2017.4.1～2018.3.31.

6 学内教育活動

1) 学部

地域看護学 I・II, 公衆衛生看護活動論, 公衆衛生看護活動演習 I・II, 公衆衛生看護管理論 I・II, 公衆衛生看護学実習, 地域看護学実習, 在宅看護学実習, 統合実習, 卒業研究.

7 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科学生委員 (委員), 2017.4.1～2018.3.31.
- 2) 看護学科 4 年次クラス担任 (リーダー), 2017.4.1～2018.3.31.
- 3) 学内 チューター, 2017.4.1～2018.3.31.
- 4) 学内 国家試験委員, 2017.4.1～2018.3.31.
- 5) 看護学科 国家試験委員, 2017.4.1～2018.3.31.
- 6) 看護学科 進路支援委員, 2017.4.1～2018.3.31.

11 学内研究助成金の受託

- 1) 松坂由香里. 母子保健業務に携わる保健師の家族支援実践力に関する研究－家族支援実践力の現状から教育プログラムの検討に向けて－. 学内研究助成 B (奨励研究), 192 千円, 2017.4.1～2018.3.31.
- 2) 大島憲子研究代表者, 松坂由香里. 認知症者の行動・心理症状に対するケア技術と評価尺度に関する研究. 学内研究助成 A (協働研究), 420 千円, 2017.4.1～2018.3.31.

12 受賞

- 1) Yukari Matsuzaka, Mikako Arakida (2017): Development of a scale facilitating the assessment of public health nurses' practical skills for family support : Analysis of Reliability and Validity.
Journal of Family Nursing への推薦論文 (抄録) として, 日本家族看護学会より選考され, 受賞.

米山 雅子（大学院研究科兼務）

4 学会等での活動

- 1) 米山雅子, 野中淳子, 岡澄子 (2017). 病気や障がいの子どものきょうだい支援の実態と課題. 日本小児看護学会第 27 回学術集会講演集, 255.
- 2) 一般演題「看護管理②」座長. 日本小児看護学会第 27 回学術集会講演集, 266. 京都.

6 学内教育活動

- 1) 学部
小児看護学 I, 小児看護学 II, 小児看護学実習, 統合実習, 卒業研究, 臨床看護応用演習.
- 2) 大学院
小児看護学特論 I, 小児看護学特論 II, 小児看護学演習 II.

7 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科時間割ワーキンググループ, 2017.4.1～2018.3.31.
- 2) 学科 FD 委員会, 2017.4.1～2018.3.31.
- 3) オープンキャンパス委員, 2017.4.1～2018.3.31.
- 4) 編入学試験作問担当, 2017.4.1～2018.3.31.

8 社会貢献

- 1) 第 3 回「きょうだいが主役になる日」スタンプラリー病院探検ツアーのイベント企画・開催, 地方独立行政法人神奈川県立病院機構 神奈川県立こども医療センター 協働, 2017.7.30.
- 2) 一般社団法人日本小児看護学会, 専任査読委員, 2017.4.～2018.3.
- 3) 日本看護学会協会, 論文集「ヘルスプロモーション」論文選考ワーキング委員, 2017.4.～2018.3.
- 4) 特定非営利活動法人日本小児がん看護学会, 専任査読委員, 2017.4.～2018.3.

11 学内研究助成金の受託

- 1) 米山雅子代表, 野中淳子, 和田由樹. 対人援助職者の職業性ストレスモデルの構築に向けた調査. 平成 29 年度神奈川県立保健福祉大学研究助成 B, 321 千円, 2017.6.～2018.3.
- 2) 野中淳子代表, 米山雅子, 岡澄子, 内田雅代, 古谷佳由理. 小児がんの子どものきょうだい支援に関する看護介入プログラム開発. 平成 26 年～29 年学術研究醸成金基盤 C, 872 千円, 2016.4.1～2018.3.31.

渡邊 恵

5 学会，協会，公的団体の委員など

- 1) 日本看護学教育学会，第 28 回学術集会企画委員，広報・渉外担当，2017.3.13.～

6 学内教育活動

1) 学部

ヘルスアセスメント論，看護技術論Ⅰ，看護技術論Ⅱ，看護技術論Ⅲ，基礎看護学実習Ⅰ，基礎看護学実習Ⅱ，統合実習，卒業研究，成人看護学（慢性期）実習.

7 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科 実習委員会，2017.4.～
- 2) オープンキャンパス委員会，2017.4.～2018.3.31.

8 社会貢献

- 1) 川崎市立橘高校 2 年 大学出張講義 「検査における看護師の役割：静脈採血」模擬授業を実施. 2017.6.15.

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 渡邊恵研究代表者. 臨床現場の活用事例にもとづいた体温・循環調節の看護技術教材の開発. 科学研究費補助金 若手研究(B)，2340 千円，2015.4.1～2018.3.31.

末田 千恵

2 学術論文

- 1) 井上聡子, 末田千恵, 門川由紀江 (2017). 精神症状のある中学校・高等学校の生徒への対応における養護教諭が抱く困難感. 東京医療学院大学紀要, 6. (in press)

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 狛江市介護保険推進市民協議会委員, 2003.12.～
- 2) 狛江市高齢小委員会委員, 2015.11.～
- 3) 大磯町高齢者福祉計画策定委員会委員, 2017.4.～2020.3.
- 4) 藤沢市介護認定審査会委員, 2017.4.～2019.3.

6 学内教育活動

- 1) 学部
在宅看護学, 在宅看護学実習, 地域看護学Ⅱ, 地域看護学実習, 統合実習, 卒業研究, 老年看護学実習.
- 2) 大学院
がん看護学特論.
- 3) 実践教育センター
平成 29 年度看護実習指導者講習会(病院等)「統合分野の教育と実習指導 2」.

7 学内各種委員会活動

- 1) 学科実習委員会, 2016.10.～2019.3.
- 2) 学科学生委員会, 2017.4.～2019.3.
- 3) クラス担任(3年生), 2017.4.～2018.3.

8 社会貢献

- 1) 横須賀市「生涯現役」フォーラム 2017, 特別講演「転ばぬ先の訪問看護—看護師がおうちにやってくる—」. 2017.11.25.
- 2) 出張講義: 神奈川県立百合丘高校 2 年生, 「これからの看護—在宅看護の時代」の模擬授業. 2017.12.16.
- 3) オープンキャンパスでは妊婦体験を担当. 2017.8.5.

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 宮城孝研究代表者, 末田千恵研究分担者. 地域特性に応じた地域包括ケアシステムの経営効率性と統合化に関する実証的研究. 平成 29 年度科学研究費助成事業基盤研究 (B), 250 千円, 2017.4.～2019.3.

11 学内研究助成金の受託

- 1) 末田千恵. 精神障害者が長期に地域生活を継続するために訪問看護師が行っている多職種との連携. 神奈川県立保健福祉大学研究助成 B (奨励研究), 141 千円, 2017.4.～2018.3.

安藤 里恵

4 学会等での活動

- 1) 陶山克洋, 村松仁, 安藤里恵 (2017). IDDM と摂食障害の研究における現状と課題. 第 16 回日本アディクション看護学会学術集会抄録集, 53. 群馬.
- 2) 安藤里恵, 藤澤由香, 土屋陽子, 三浦幸枝, 佐々木幸子 (2017). A 県における糖尿病透析予防指導の課題と充実に向けた研修へのニーズ. 日本看護科学学会第 37 回学術集会講演集, 382-383. 仙台.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本看護教育学学会第 28 回学術集会, 企画委員・運営委員, 2017.4.1.～
- 2) 第 16 回日本アディクション看護学会学術集会, 実行委員, 2017.9.2～2017.9.3.

6 学内教育活動

- 1) 学部
成人看護学(慢性期)Ⅱ, 成人看護学(慢性期)実習, 統合実習, 卒業研究, 老年看護学実習.

7 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科実習委員会, 2017.4.1～2018.3.31.
- 2) 看護学科設備・備品担当委員会, 2017.4.1～2018.3.31.
- 3) 看護学科オープンキャンパス委員会, 2017.4.1～2018.3.31.

8 社会貢献

- 1) 慢性看護研究会の企画・運営, 2017.7.21, 2017.9.8, 2018.2.16.
- 2) 健康フェアin横須賀, 日々の足から健康習慣プロジェクト～血糖測定フェア～の企画・準備, 2018.9.2.
- 3) 横須賀米海軍病院日米合同看護シンポジウム参加, 2018.2.12.

11 学内研究助成金の受託

- 1) 安藤里恵, 白水真理子, 間瀬由記. 血糖測定フェア参加者が作成した身体活動活発化のためのアクションプランの傾向. 神奈川県立保健福祉大学 研究助成 B(奨励研究), 295 千円, 2017.4.1～2018.3.31.

黒河内 仙奈

1 著書

- 1) 黒河内仙奈 (2018). 第 5 章 D 看護活動の場における高齢者事例の展開. 水谷信子 (監修), 水野敏子, 高山成子, 三重野英子, 會田信子 (編), 最新老年看護学 第 3 版 2018 年版 (pp.237-245). 東京: 日本看護協会出版会.
- 2) 黒河内仙奈 (2018). コラム 患者の社会参加を促す「就労条件・環境の調整」. 酒井郁子, 金城利雄 (編), 看護学テキストシリーズ NiCE リハビリテーション看護改訂 第 2 版第 3 刷 (p.136). 東京: 南江堂.
- 3) 酒井郁子, 黒河内仙奈 (2018). 第 4 章 身体運動機能の低下を予防する. 渡辺裕子 (監修), 上野まり, 中村順子, 本田彰子, 炭谷靖子 (編), 家族看護を基盤とした在宅看護論 II 実践編 第 4 版 (pp.52-69). 東京: 日本看護協会出版会.
- 4) 黒河内仙奈 (2018). 第 4 章 関連研究および関連文献の収集. アイオワ大学病院看護研究・EBP・質改善部門 (編集) / 松岡千代, 深堀浩樹, 酒井郁子 (訳). 看護実践の質を改善するための EBP ガイドブック—アウトカムを向上させ現場を変えていくために (pp.29-36). 京都: ミネルヴァ書房.
- 5) 黒河内仙奈 (2018). 第 7 章 試験的实施. アイオワ大学病院看護研究・EBP・質改善部門 (編集) / 松岡千代, 深堀浩樹, 酒井郁子 (訳). 看護実践の質を改善するための EBP ガイドブック—アウトカムを向上させ現場を変えていくために (pp.77-84). 京都: ミネルヴァ書房.
- 6) 黒河内仙奈 (2018). 第 9 章 評価. アイオワ大学病院看護研究・EBP・質改善部門 (編集) / 松岡千代, 深堀浩樹, 酒井郁子 (訳). 看護実践の質を改善するための EBP ガイドブック—アウトカムを向上させ現場を変えていくために (pp.167-184). 京都: ミネルヴァ書房.
- 7) 酒井郁子, 黒河内仙奈 (2018). 第 12 章 普及. アイオワ大学病院看護研究・EBP・質改善部門 (編集) / 松岡千代, 深堀浩樹, 酒井郁子 (訳). 看護実践の質を改善するための EBP ガイドブック—アウトカムを向上させ現場を変えていくために (pp.197-208). 京都: ミネルヴァ書房.

2 学術論文

- 1) Tomotaki, A., Fukahori, H., Sakai, I., & Kurokohchi, K. (2018). The development and validation of the Evidence-Based Practice Questionnaire: Japanese version. *International Journal Of Nursing Practice*, 24(2), e12617-e12617. doi:10.1111/ijn.12617(accessed 2018-May-17th)

4 学会等での活動

- 1) 呑香美佳子, 黒河内仙奈, 酒井郁子 (2017). 急性期病院における身体拘束縮小の取り組みとその効果. 日本老年看護学会第 22 回学術集会抄録集, 153. (於名古屋国際会議場)

- 2) 柴田三奈子, 黒河内仙奈, 酒井郁子 (2017). 地域包括ケアシステム構築にむけた自組織のエンドオブライフケア体制の確立ーエンドオブライフケア実践マニュアルの作成と評価. 日本老年看護学会第 22 回学術集会抄録集, 165. (於名古屋国際会議場)
- 3) 松岡千代, 酒井郁子, 深堀浩樹, 黒河内仙奈, 友滝愛, Laura Cullen (2017). Promoting Evidence-Based Practice Globally Evidence-Based Leadership Institute: A Model to Develop Nurse Leaders. 28TH INTERNATIONAL NURSING RESEARCH CONGRESS, Dublin, Ireland.
- 4) 菅原聡美, 酒井郁子, 黒河内仙奈 (2017). 国立大学病院の看護師リーダーが必要とするコンピテンシー獲得のための必要な支援と阻害する要因～看護師リーダーと管理者の認識. 第 21 回日本看護管理学会学術集会抄録集, 255. (於パシフィコ横浜)
- 5) 小宮浩美, 酒井郁子, 黒河内仙奈 (2017). 精神科の地域生活移行支援のためのエンパワーメントアプローチ・プロトコルの実践適用ーアプリケーションのフィージビリティー. 第 21 回日本看護管理学会学術集会抄録集, 268. (於パシフィコ横浜)
- 6) 朝比奈真由美, 黒河内仙奈, 酒井郁子, 井出成美, 関根祐子, 伊藤彰一 (2017). クリニカル IPE に対する臨床指導者からのフィードバック. 第 49 回日本医学教育学会大会抄録集, 233. (於札幌コンベンションセンター)
- 7) 樋浦裕里, 酒井郁子, 黒河内仙奈 (2017). 回復期リハビリテーション病棟の看護職と介護職間における IPW (Interprofessional Work) 推進の取り組みー患者中心のリハビリテーション医療の提供をめざしてー. 日本リハビリテーション看護学会第 29 回学術大会抄録集, 83. (於日経ホール)
- 8) 小宮浩美, 酒井郁子, 黒河内仙奈 (2017). 精神科の地域生活移行支援のためのエンパワーメントアプローチ・プロトコルの実践適用の促進・阻害要因. 第 37 回日本看護科学学会学術集会抄録集, 056-2. (於仙台国際センター)

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 千葉看護学会, 研究活動推進委員会, 委員, 2015.4.1～2018.3.31.
- 2) 千葉県千葉リハビリテーションセンター倫理委員会, 外部委員, 2015.5.1～2017.4.30.
- 3) 日本老年看護学会, 査読委員, 2016.6.25～2018 年度社員総会.
- 4) 日本老年看護学会, 研究・教育活動推進委員会, 委員, 2016.7.10～2018 年度社員総会.

7 学内各種委員会活動

- 1) 実習委員会, 委員, 2017.8.1～2018.3.31.
- 2) 設備備品委員会, 委員, 2017.8.1～2018.3.31.

9 講演, 放送

- 1) 神奈川県老人保健施設協会合同シンポジウム講演「地域包括ケアシステムにおける多職種連携: 自分たちが他職種・他組織のためにできること」. 2018.3.7.

10 科学研究費補助金，その他の補助金などの受託

- 1) 黒河内仙奈研究代表者．長期ケア施設における看護師のキャリアビジョンの明確化．
学術研究助成基金助成金 若手研究 (B)，2,340 千円，2016.4.1～2019.3.31.
- 2) 池崎澄江研究代表者，黒河内仙奈．特別養護老人ホームの終末期ケアにおける多職種
連携とケアの質の評価に関する研究．科学研究費補助金 基盤研究(B)，10,400 千円，
2016.4.1～2019.3.31.

小林 由実

2 学術論文

- 1) 小林由実 (2018). 脳卒中後経鼻胃管から栄養を受ける患者の姿勢. 神奈川県立保健福祉大学誌, 15(1), 55-62.
- 2) 水戸優子, 西田直子, 若村智子, 国澤尚子, 平田美和, 小林由実, 富田川智志 (2018). 看護職者による患者移動動作ガイドライン作成に向けた基礎研究:車椅子移乗介助に関する実態調査. 神奈川県立保健福祉大学誌, 15(1), 63-70.

4 学会等での活動

- 1) 小林由実, 水戸優子 (2017). 示説. 患者をベッド上で側方移動させる際の看護者の動作分析 -素手, スライディングシート, ポジショニンググローブの比較-. 日本看護技術学会第 16 回学術集会講演抄録集, 64.
- 2) 西田直子, 水戸優子, 國澤尚子, 若村智子, 平田美和, 小林由実, 富田川智志 (2017). 交流セッション 移動動作 Q&A の作成に向けての検討. 日本看護技術学会第 16 回学術集会講演抄録集, 121.
- 3) 水戸優子, 芳村直美, 小林由実 (2017). 交流セッション 口から食べるを支える摂食・嚥下ケアとフィジカルアセスメント. 日本看護技術学会第 16 回学術集会講演抄録集, 124.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本人間工学会看護人間工学部会, 会計・HP 委員, 2017.4.1～2019.3.31.

6 学内教育活動

1) 学部

ヘルスアセスメント論, 看護技術論 I, 看護技術論 II, 看護技術論 III, 基礎看護学実習 I, 基礎看護学実習 II, 統合実習, 卒業研究, 老年看護学実習.

7 学内各種委員会活動

- 1) 学科学生委員会 1 年生クラス担任, 2017.4.1～2018.3.31.
- 2) 看護学科オープンキャンパス委員会, 2017.4.～2018.3.31.

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 小林由実. 看護師・患者の身体負担軽減を目指したトイレ介助方法の開発. 科学研究費助成事業 若手研究(B), 4,160 千円, 2017.4.1～2020.3.31.

田代 理沙

4 学会等での活動

- 1) 土井英子, 野村美香, 歌川美希, 大場美穂, 田代理沙, 小林珠実 (2018). 外来で化学療法を受ける大腸がん患者の睡眠の実態. 第 32 回日本がん看護学会学術集会講演集, 166, 2018.

6 学内教育活動

- 1) 学部
成人看護学 (急性期) 実習, 卒業研究.

7 学内各種委員会活動

- 1) 設備・備品委員会, 2017.12.1～2018.3.31.

10 科学研究費補助金, その他の補助金などの受託

- 1) 野村美香, 土井英子, 小林珠実, 大場美穂, 田代理沙, 笹倉裕一. 子宮頸がん検診の継続受診を促す統合的リスクコミュニケーションプロトコルの開発. 基盤研究 (C) (一般), 20 千円, 2017.～2020.
- 2) 小林珠実, 大場美穂, 土井英子, 田代理沙, 野村美香. 高齢者ケア施設で死を看取る看護師のグリーフアセスメントに基づくケアモデルの構築. 基盤研究 (C) (一般), 35 千円, 2017.～2019.
- 3) 大場美穂, 真田弘美, 野村美香, 小林珠実, 大江真琴, 土井英子, 竹原君江, 田代理沙. 透析患者における足スクリーニングシステムの構築. 基盤研究 (C) (一般), 20 千円, 2017.～2019.

佐々木 杏子

3 その他の著作

- 1) 松下佳代, 佐々木杏子 (2018). インタビュー「ディープ・アクティブラーニング」という示唆. 看護教育, 59(2), 120-127.

4 学会等での活動

- 1) 佐々木杏子, 大久保暢子他 (2017). 革新的看護技術の普及に関する影響要因の検討ー文献検討の結果からー. 日本看護技術学会第16回学術集会講演抄録集, 87.
- 2) 卒業研究交流セッション座長. 日本看護技術学会第16回学術集会講演抄録集, 25.
- 3) 奥井良子, 白水真理子, 間瀬由記, 中原慎二, 谷口綾子, 佐々木杏子 (2017). 外来通院中の糖尿病患者の身体活動の実態. 第11回日本慢性看護学会学術集会, 11(1), 83.

5 学会, 協会, 公的団体の委員など

- 1) 日本看護学教育学会, 第28回学術集会企画委員, 2017.3.～
- 2) 日本看護技術学会, 研究活動推進委員会委員, 2017.4.～
- 3) 日本看護技術学会, 技術研究成果検討委員会, 移動動作評価グループ, 2015.4.～

6 学内研究活動

1) 学部

ヘルスアセスメント論, 看護技術論Ⅰ, 看護技術論Ⅱ, 看護技術論Ⅲ, 基礎看護学実習Ⅰ, 基礎看護学実習Ⅱ, 成人(慢性期)看護学実習, 統合実習, 卒業研究.

7 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科 FD 委員会, 2017.4.～
- 2) 看護学科学生委員会, 2017.4.～
- 3) オープンキャンパス, 看護学科 学内ツアー担当, 2017.8.5.

8 社会貢献

- 1) 横須賀高校スーパーサイエンススクール協力委員, 2017.1.～

富塚 美和

4 学会等での活動

- 1) 富塚美和 (2018). 中高年期にある人々の認知症に対する態度の実態と関連要因. 第6回日本公衆衛生看護学会学術集会講演集, 124.

6 学内教育活動

1) 学部

地域看護学Ⅰ, 地域看護学Ⅱ, 公衆衛生看護活動演習Ⅰ, 公衆衛生看護活動演習Ⅱ, 公衆衛生看護管理論Ⅱ, 総合演習(養護教諭), 教職実践演習(養護教諭), 保健医療福祉論Ⅰ, 地域看護学実習, 在宅看護学実習, 統合実習, 老年看護学実習, 卒業研究.

7 学内各種委員会活動

- 1) 看護学科学生委員会 1年次クラス担任, 2017.4.1～2018.3.31.

8 社会貢献

- 1) 平成 29 年度全国保健師教育機関協議会定時社員総会にて当日スタッフを務めた. 2017.6.3.
- 2) 株式会社日本製鋼所横浜製作所での健康イベントにおいて, 生活習慣病予防に対する支援を行った(血管年齢測定・自律神経バランス測定等). 2017.9.11～9.12, 2017.12.6.
- 3) 株式会社日本製鋼所横浜製作所における健康教育にて講師を務めた. 2017.10.4.
- 4) 小田原保健福祉事務所主催の研修会にて講師を務めた. 2017.11.20.

11 学内研究助成金の受託

- 1) 富塚美和. 産業保健における中高年期にある人々への認知症予防教育の実態と関連要因. 神奈川県立保健福祉大学 研究助成 B, 213 千円, 2017.4.1～2018.3.31.